

まちづくり事業を前進させました!!

西武新宿線沿線まちづくりと鉄道立体化の早期実現について、議会の場で何度も発言して参りました。その結果が区の都市計画等に反映され、上石神井駅周辺の現況測量が始まるなど、まちづくり事業を着実に前進させています!!



【練馬区都市計画マスタープラン(H27.12改定)】において、**上石神井駅周辺の位置づけが『生活拠点』から『地域拠点』へ格上げされました!!**

中心核	1地区	練馬駅周辺
地域拠点	4地区	石神井公園駅周辺・大泉学園駅周辺 光が丘駅周辺・ 上石神井駅周辺
生活拠点 18地区・生活拠点(候補) 3地区		

【東京における都市計画道路の整備方針第四次事業化計画(案)(H27.12)】において**南北道路(外環の2新青梅街道~千川通り間)及び上石神井駅前広場が優先整備路線(今後10年間で優先的に整備すべき路線)に指定されました!!**



自民党

練馬区議会議員 自民党 (2期)

田中よしゆき

PROFIE

学歴

- 関町白百合幼稚園卒園
- 成蹊小・中・高等学校卒業
- 中央大学商学部会計学科卒業

生年月日

- 昭和43年7月17日
- 練馬区上石神井 生まれ

職歴

- 東京都民銀行 9年10ヵ月勤務
- 練馬上石神井北郵便局長 11年勤務
- 青少年育成上石神井地区委員会顧問
- 元、上石神井小学校PTA会長
- 元、練馬区青少年委員
- 元、上石神井小学校 学校評議員
- 元、上石神井中学校 学校評議員
- 平成26年4月20日 初当選
- 平成27年4月26日 2期目当選

選挙権年齢の引き下げに際し、積極的な選挙啓発活動を!

質問3 夏の参議院選挙以降の18歳選挙権に向けて、小中学校の教職員への研修や生徒に対する指導について伺う。

答弁 教育委員会が選挙管理委員会等の協力を得ながら、より実践的な学習の充実に努めていく。

質問4 選挙管理委員会と教育委員会が連携した選挙啓発活動をさらに活発におこなうよう要望する。

答弁 小中学校が実施する主権者教育を積極的に支援していく。啓発活動を強化していく。

質問5 法改正の周知を活用して不在者投票の手続きがスムーズに行われることが必要。

答弁 区報などでの転入手続案内時に、不在者投票制度など選挙制度について説明を行っていく。



平成28年第1回練馬区議会定例会 一般質問(要旨)

西武新宿線沿線まちづくりと鉄道立体化事業を加速せよ!!

質問1 「外環の2整備をまちづくりの1環として進めていくには、練馬区と東京都の更なる連携が欠かせない。」

答弁 東京都の所管部局との実務的な協議を進めている。

質問2 西武新宿線の二日も早い立体化の実現に向けて、区は地元熱意の火を消すこと無く、東京都などに訴えかけていくべきである。現時点における区の鉄道立体化に向けた取り組みは。

答弁 隣接区市と連携し、鉄道の立体化の早期実現を東京都や鉄道事業者にも、強く要請していく。

証明書発行事務について

質問12 今後の出張所や証明書自動交付機についてのあり方は。

答弁 自動交付機が利用できるカードから、個人番号カードに切り替えるよう推奨に努める。出張所は、平成28年度をもって廃止し、出張所の施設は地域の特性・要望にあわせた機能を持たせるよう検討する。

質問13 個人番号カードの受取りを出張所でも取り扱って頂きたいと要望する。

答弁 職員の配置、新たな住基端末の設置等の費用面や、セキュリティの不安などから実施は困難と考えらる。

質問13 証明書発行事務の対面サービスの委託方針は。

答弁 当面は郵便局との協議を継続し、改善を図りながら運用していく。

防災対策について訓練の充実を!

質問7 「業務継続計画」の修正状況と、実行性を高める為の取組は。

答弁 防災直後を想定して図上訓練を実施し、庁内各部の初動対応の検証を行った。得られた成果を業務継続計画の見直しに反映した上で素案としてまとめ、3月を目途に策定する。

質問8 災害ボランティアの育成は重要な取り組み。災害ボランティアの登録人数をどのように増やしていくのか。

答弁 区報や防災訓練等を活用して周知に努め、登録者の拡大を図っていく。スムーズに活動できるよう避難拠点運営連絡会の意見も聞きながら調整を図る。

質問9 区は今年度はじめて、震災総合訓練における訓練メニューにスタッドバイクの取り扱いを盛り込んだ。今後このような訓練の充実を要望する。

答弁 操作技術としては一層のレベルアップが必要な状況であり関係機関と連携した訓練を通じて習熟に努めていく。

質問10 練馬区エネルギービジョン(素案)では避難拠点等でのエネルギー確保のため、電気自動車等の外部電源活用と災害時協力登録車制度の創設が位置づけられた。外部電源活用により確保できる電力量や使途は。

答弁 電気自動車の蓄電池の容量は一世帯当たりの消費電力量と比較すると、電気自動車で約2日分、燃料電池自動車で5・6日分に相当。避難拠点に配備している小型発電機を補完する電源として、主に避難者の生活環境を向上させる用途での活用を想定。

質問11 この制度を成功させるためには、多くの方に理解協力していただくことが必要。

答弁 平成28年度中には登録車制度を創設し、広く区民事業者の協力を呼びかけていく。

質問6 投票環境の向上に向けた公職選挙法の改正について伺う。

答弁 投票所を自由に選べるようにするには、様々な検討が不可欠。法改正後には、内容の周知や必要な準備を確実に、厳正な選挙志向に万全を期す。

練馬区議会 自民党 議会レポート



〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 URL <http://www.nerima-jimin.com>
TEL03-5984-1012 FAX 03-3993-1190 MAIL nerima.jimin@jcom.home.ne.jp

- TOPICS ▶防災機能向上の為に!都市計画道路の早期整備を!
▶大泉学園新病院平成29年オープン予定
▶一般質問にて区政を問う!!

平成28年度当初予算成立 自民党が実現!

一般会計総額2599億7千万円

防災機能向上の為に!都市計画道路の早期整備を!



自民党は地域との合意形成に尽力します。

第四次事業化計画(案) 優先整備路線提示箇所

予算特別委員会にて都市計画道路の整備について区長の姿勢を問う 区長答弁

阪神淡路大震災で亡くなられた方の多くが、道路が使えず救援や消防活動が間に合わなかった為の圧死や焼死であった。練馬区でこうした惨劇を絶対に許してはならない。都市計画道路を必ず整備して、消防活動困難区域を解消しなければならない。もちろん、道路の役割はそれだけではなく、みどりや住環境など区民生活を支え、都市発展を支える交通イン

フラとしての役割を担っている。震災復興、戦災復興と2度の道路整備の機会を逃したことは、東京にとって痛恨の極みであった。それでも都と23区は、営々として道路建設を続け、現在の東京の繁栄を支える道路網となった。練馬区にとって今は、立ち遅れた都市計画道路の整備に取り組む最後のチャンスである。今において時は無い。「橋の哲学」と称し「一

人でも反対者がいたら橋は作らない」と行政の責任を放棄した時代があった。その結果が今の練馬区である。私たちの子孫のためにも、住民の皆様へ根気よくご理解を頂きながら、歯を食いしばってでも頑張らなければと心に誓っている。志を同じくする議員、区民の皆様と力を合わせて、都市計画道路の整備に全力を尽くす。

大泉学園新病院平成29年オープン予定

ねりま健育会病院



所在地:東京都練馬区大泉学園7丁目3番
運営:医療法人社団 健育会
病院:病床 100床(回復期リハビリテーション)
介護老人保健施設:定員 80名
その他事業:通所リハビリテーション、訪問看護ST、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所

一般質問にて

区政を問う!!

4名が代表して質問

関口和雄議員・小川けいこ議員
田中よしゆき議員・おじま紘平議員

- ・区政改革について
- ・職員と組織について
- ・文化・芸術の街ねりまについて
- ・がん対策、不妊治療について
- ・南北道路整備と西武新宿線沿線まちづくりについて
- ・18歳選挙について
- ・子育て施策について
- ・生活保護について

※詳しくは自民党ホームページでご覧下さい。

練馬区議会自民党

検索